

ULT通信

あると

やってきました、ULT読書月間！ 様々なイベントや特典があるULTの11月を大いに楽しもう！！

今学期最後のULT通信なので、冬休みのカレンダーも載せておきます。休館が多いのでご注意を。

2019.11.18号 / vol.90 発行 / ULT 図書館司書

特集展示！
@ULT1階

ULT読書月間 November 2019

(教室掲示ポスター)

LET'S SPORT

する？みる？よむ！

2019年ラグビーW杯・2020年東京オリンピック。
スポーツに携う日本で、あなたはどのようにスポーツを楽しみますか？
ULTでは、スポーツに関する本を大特集。
スポーツ小説で胸を熱くするもよし、トレーニング本で技術を磨くもよし！
フィクション・ノンフィクション、本・マンガ・DVD、いろいろ取り揃えてお待ちしています！

月間特典…貸出点数無制限、読書マラソン開始で記念品贈呈・その他イベント



マンガ!

DVD!



7人制の本!



五輪の本!



練習の本!



小説!



借り放題！
貸出点数無制限です。

読書座談会？

希望者がいれば開催します。
候補日は19日か21日。

読マ特典！

はじめてひと全員に
ULTグッズを贈呈！

コーラス部登場！

恒例のミニコンサート。
26日の放課後、ULTへ集合！

★ Reading ★ Marathon ★

75pt
1年S.H.さん
Oct. 7th

ULT CALENDAR

12月

DECEMBER

1月

JANUARY

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
						×			×	×	×	×	×
2	3	4 午前授業	5 期末	6 期末	7 期末	8	9	10	8 始業式	9	10	11	12
9 期末	10	11	12	13	×	×	×	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20 終業式	×	×	20	21 入試準備	22 入試	23 入試	24 入試	25 入試	26
23	24	25	×	×	×	×	27	28	29	30	31		

開館時間 9:00 (12/7・1/18 は 8:00)

閉館時間 無印…18:00 ○…16:00 △…14:00

新着案内

10月の新着は124点です。
一部抜粋で紹介します。

↓シリーズ小説続巻

タイトル	著者	請求記号
54字の物語 参: みんなでつくる意味がわかるとゾクゾクする超短編小説	氏田雄介	913.6-ウシ-3
その白さえ嘘だとしても (階段島シリーズ)	河野裕	913.6-コウ-2
汚れた赤を恋と呼ぶんだ (階段島シリーズ)	河野裕	913.6-コウ-3
虚構推理 スリーピング・マörder	城平京	913.6-シロ-2
てんげんつう (しゃばけシリーズ)	島中恵	913.6-ハタ-18
怪盗クイーン、仮面舞踏会にて ピラミッドキャップの謎 前編	はやみねかおる	913.6-ハヤ-4
怪盗クイーンに月の砂漠を ピラミッドキャップの謎 後編	はやみねかおる	913.6-ハヤ-5
妖怪の子預かります 3~6	廣嶋玲子	913.6-ヒロ-3~6



↓世界史・数学・英語…自分からすすんでやる勉強はたのしい(はず)!

タイトル	著者	請求記号
図解でわかる14歳から知っておきたい中国	北村豊	302.22-キタ
数学ガールの秘密ノート 式とグラフ	結城浩	410.4-ユウ
これだけで聞き取れる!英語リスニングたった3つの秘密の法則	水野稚	831.1-ミス



↓新書を読もう。新書とは縦長でポケットサイズの本のこと。トピックがわかる!知識がつく!

タイトル	著者	請求記号
ルポ保育格差 (岩波新書)	小林美希	369.4-コハ
ゲノム編集の光と闇 人類の未来に何をもちたらすか (ちくま新書)	青野由利	467.2-アオ
国境なき助産師が行く 難民救助の活動から見てきたこと (ちくまプリマー新書)	小島穂奈	495.9-コシ
人はどのように鉄を作ってきたか 4000年の歴史と製鉄の原理 (ブルーバックス)	永田和宏	564.02-ナカ



コラムdeレシーブ

第90回は高橋が担当です。今月は読書月間ということで、特集展示「スポーツ」にちなんで1冊を紹介します。ここ1か月間、日本中がラグビーワールドカップに熱を上げていましたが、同じ時期にバレーボールもワールドカップが開催されており、白熱した戦いが繰り広げられていました。今回紹介する本は、元全日本女子バレーボールチームの司令塔<セッター>として活躍した竹下佳江の『セッター思考 人と人をつなぐ技術を磨く』です。



竹下佳江は、長らく日本代表としてプレーし、2013年に現役を引退しました。<世界最小最強セッター>の名の通り、159cmの身長で長身の海外チームと渡り合ってきた選手です。本の中では、彼女のバレーボール人生を振り返りつつ、セッターとして日々心がけてきた<セッター思考>の実践が述べられています。<セッター思考>とは周りを支える喜びを自分の喜びとして感じる事。セッターはアタッカーとの意思の疎通が欠かせません。一癖も二癖もある選手達で構成される代表チームですが、<セッター思考>でつながっていくことで、やがて<いい群れ>に変化していきます。そして、届いた念願の五輪銅メダル。彼女は、2000年のシドニー五輪の最終予選で敗れ、出場権を逃したときのセッターです。挫折を味わった彼女は、一旦バレーボールから離れます。その後復帰し、2012年のロンドン五輪で銅メダル獲得という快挙を成し遂げるわけですが、険しい道のりを歩んできた彼女だからこそ、ひとつひとつの言葉に説得力があります。

<セッター思考>とはコミュニケーションのことで、バレーボールの技術論ではありません。他のスポーツをはじめ、集団のいろいろな場面で応用できると思います。バレーボールもラグビーも同じチームスポーツ。仲間と協力してボールをつなぎ、点に結び付ける過程こそチームスポーツの魅力であり、応援している私たちはそのチームの姿に胸を熱くさせられるのだと思います。というわけで、次回のテーマは「チーム」にします。